



(聖通寺市)

Contents

平成22年第1回定例会	2	3
一般質問	4	7
研修報告・第2回臨時会	8	
子ども議会・お知らせ	9	
議会日誌・編集後記	10	

うたづ議会だより

電子メール：gikai@town.utazu.kagawa.jp

発行：宇多津町議会

〒769-0292 香川県綾歌郡宇多津町1881

☎ (0877) 49-8014

編集：議会広報特別委員会

宇多津北小学校校舎増築へ



平成22年第1回定例会は3月8日から3月19日まで開催され、議案37件、陳情1件、請願1件、発議2件、同意1件、諮問1件、継続審査1件を審議した。また一般質問は8人が登壇し、「町施設駐車場と町有地での駐車場の適正管理」「今秋、任期満了を迎える谷川町長の進退は」「子供たちの為にベビーベッドの貸し出しを」「車イス利用者に屋根付き駐車場を」「乳幼児医療費無料化の拡大」「少年育成センターの在り方」「町長の政策転換で住民の暮らしと命を守れ」「保健センターの利活用」などについて活発な議論が交わされた。また谷川町長から所信表明がなされた。

主な審議結果と内容

平成22年度一般会計予算 賛成多数（8人）で可決

59億9、600万円（昨年比9.3割増）

歳入（入るお金） 地方交付税が昨年に比べ1、500万円増

町税が28億1、523万円と昨年より2、321万円減っている。地方交付税は、4億4、000万円。国・県支出金は、11億8、879万円と昨年より4億106万円の増額。歳入不足を補うための町債（借金）は総額5億7、280万円。繰入金（貯金を下ろして使う金額）は2億3、871万円。

歳出（使うお金） 公債費（借金の返済金）は昨年に比べ415万円の増

人件費は11億4、700万円と昨年に比べ2、690万円の増額となっている。公債費は4億4、252万円。普通建設費7億7、300万円。今年度末の地方債（借金）の残高は38億878万円の見込みとなっている。

平成22年度の主な事業内容

- ・宇多津北小学校増築工事
- ・今市の古民家活用事業
- ・三角邸屋根瓦葺き替え工事
- ・鍋谷コミュニティ分館遊具設置工事
- ・中学校吹奏楽部楽器購入
- など

住民の皆様へ

「意見書、陳情、要望書などの受付」について

締め切りは定例会の前月末日（次回の6月定例会では5月31日）までの受付とし、それ以降は9月定例会の取扱いとさせていただきます。

平成22年度予算

会計名	本年度当初予算	前年度当初予算	比較	水道事業会計	収入額	支出額
一般会計	59億9,650万円	54億8,800万円	5億850万円	本年度収益的収入及び支出	4億770万円	3億6,049万円
特別会計	国民健康保険	13億4,660万円	13億8,813万円	△ 4,153万円	前年度収益的収入及び支出	3億6,607万円
	老人保健	537万円	537万円	0		
	介護保健	8億4,650万円	8億5,393万円	△ 743万円	比較	4,163万円
	後期高齢者医療	1億4,089万円	1億3,911万円	178万円	790万円	
	下水道事業	9億8,429万円	9億4,618万円	3,811万円		
	坂下墓地整備事業	360万円	500万円	△ 140万円		

主な条例改正

水道事業給水条例の一部を改正する条例

賛成多数(5人)で可決

(内容) 老朽管を耐震化するなどの事業費確保を目的として水道料金を改定するため

町長及び副町長の給与に関する条例の一部を改正する条例

全会一致で可決

教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例

全会一致で可決

条例について

(内容) 現下の経済状況を鑑み、人件費の削減を行うため

ユープラザうたづの設置及び管理運営に関する条例の制定

賛成多数(8人)で可決

放課後児童育成クラブ条例の一部を改正する条例

全会一致で可決

(内容) クラブへの加入児童が増加したことにより、新規クラブ(放課後ジュニアクラブ)を設置するため

自転車等放置防止条例の制定

全会一致で可決

(内容) 美観維持、安全で快適な生活環境の保全を図るため

請願

治安維持法犠牲者国家賠償法の制定に関する請願書について

全会一致で継続審査

陳情

改正賃金法の早期完全施行等を求める陳情書について

全会一致で可決

人事案件

教育委員会委員の任命について

全会一致で可決

(内容) 上原 尚真氏(多度津町大字葛原307番地5)を適任であると答申した

人権擁護委員の推薦について

全会一致で可決

(内容) 小西敏和氏(宇多津町268番地2)を適任であると答申した

発議

町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

賛成多数(5人)で可決

(内容) 現下の経済状況を鑑み、議員報酬を約3%削減

平成21年度一般会計補正予算(第5号)賛成多数(8人)で可決

2億2,619万円を追加し、総額62億9,607万円とした。

歳入(入るお金)

主に町民税3,220万円と町債2億6,510万円を追加。また地方消費税交付金に1,200万円など

歳出(使うお金)

主に公債費に3億30万円と宇多津北小学校教室棟増築工事など

その他平成21年度補正予算

平成21年度宇多津町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

賛成多数(8人)で可決

平成21年度宇多津町老人保健特別会計補正予算(第1号)

賛成多数(8人)で可決

平成21年度宇多津町介護保険特別会計補正予算(第2号)

賛成多数(8人)で可決

平成21年度宇多津町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

賛成多数(8人)で可決

平成21年度宇多津町下水道事業特別会計補正予算(第3号)

賛成多数(8人)で可決

平成21年度宇多津町坂下墓地整備事業特別会計補正予算(第1号)

賛成多数(8人)で可決

平成21年度宇多津町水道事業会計補正予算(第2号)

賛成多数(8人)で可決

平成21年度宇多津町水道事業会計補正予算(第1号)

全会一致で可決

平成21年度宇多津町水道事業会計補正予算(第2号)

賛成多数(8人)で可決

Q&A

町施設駐車場と町有地での駐車場の適正管理を



大松喜次郎 議員

Q 役場は、就業時に6割の駐車がある。職員の駐車を含め、現状をどうお考えか。

また、中央公園は、駐車場面積が狭いが、拡張できないのか。そして、役場・中央公園・臨海公園及び本町町有地の無断駐車をどうするのか。

A 谷川総務課長

役場に用件のある方が車で来庁される際の配慮として、無断駐車禁止の啓発看板の設置や、移動の勧告の実施等を考えています。一方、職員の車通勤に関しても住民への利用規制をすることから一定の制限する必要があると考えます。

A 松井建設課長

中央公園は近隣公園に位置づけられ、当初の計画より車での来園を余り想定していません。従いまして、現駐車場の16台分が有効利用されるよう管理に十分努めて参ります。

占有車両には注意文、警告文を掲示し最終的には警察からも注意して頂ける様になっていきます。また、本町町有地は、調査の上、

対処してまいります。

Q 町職員の多採用について

一般行政事務は3名程度の募集だが、5名採用のようだ。いびつな職員構成になると思うが、なぜか。また、来年度の予定はあるか。そして、競争倍率・学部別人数・男女比・町内外比は、どうか。

A 中村総務課主幹

5名程度の採用となったのは、急遽前住民生活課長が死去されたことや休職者等の人数、復職の時期などを考慮したためでございます。

来年度の一般行政事務の採用は、本年度、数年先までの退職者を見込んだ採用としたところであり、突発的な事柄がない限り、予定はありませぬ。

競争倍率は5・6倍で、学部別人数は経済学部9名、人文学部4名、工学部、文学部、農学部、教育学部各3名、社会福祉学部、医療福祉学部、生活科学学部各1名となつていきます。男女比が、男性が20名、女性が8名、町内外比では、町内14名、町外14名です。

今秋、任期満了を迎える谷川町長の進退は？



西本弘子 議員

Q 谷川町長は今年10月、任期満了を迎える。インフラ整備などが進んだ一方、残された課題もある。国や県とのパイプを持つ町長に期待する町民も多い中、進退について伺いたい。

A 谷川町長

ただ今、身に余る温かいお言葉を頂き、誠に恐縮に存じます。おかげ様で、非才な私ですが、多く皆様のお力添えやご指導を頂き、町政の進展に邁進する事ができました。この際、関係者一同に深く感謝を申し上げます。

私としては、公人としての町の課題と将来に対する尽くせぬ思いと、おのが能力の限界、一方、人生の林住期を迎え、許されるなら安息の日々を家族や地域の人々と過ごしたいとの、私人としての思いの中で逡巡しております。そのような現在の心境を述べさせて頂き、お答えとさせて頂きたいと思っております。

Q 子どもの虐待の通報について伺いたい。

A 亀井保健福祉課長

最近ニュースでもよく耳にする子どもの虐待とその通報について。通報があつた場合の対応の仕方はどうなっているのか。保健師の訪問などの連携はとられているのか。

町は乳児家庭全戸訪問事業を開始して、保健師等が、生後4カ月までの乳児の家庭を訪れ、乳児とその保護者の心身の状況や養育環境の把握等を行っております。また、保護者に養育支援が必要であるとか、監護させるのが不相当と認められる場合は、町と関係機関が連携し、対応してまいります。

保健センターでは健診等の際に心身の状況を見て、虐待のおそれがあるか注意したり、未受診者で、その乳幼児のいる家庭等を訪問し、確認に努めています。

通報があれば48時間以内に児童の安全確認するよう努め、担当職員等が確認と調査に向かっています。

子供たちの為に、ベビーベッドの貸し出しを



谷川俊博 議員

Q 出生率、県下ナンバー1の宇多津町にとって、素晴らしい子育て支援になるのではないのでしょうか、町として、ベビーベッド貸し出し事業についてのお考えをお伺い致します。

A 亀井保健福祉課長

子育て支援には、経済的な負担軽減を求めるニーズに対して、様々な施策があると思います。国または自治体として財政状況を見極め、どこまでサービスの提供を行うのか判断が難しいところがあります。近年、一時期だけベビー用品を民間会社からレンタルするサービスがあったり、短期間しか利用しないベビー用品は、友人、知人同士、譲り合うという事も聞いています。この様な状況から、各々のご家庭で工夫して頂いておりますし、利用期間や金額、子ども手当の支給の開始等を考慮すると、ご家庭でご負担頂けるのではと考えています。

Q 子ども手当について

4月1日施行予定の子供手当の宇多津町における、交付金の見込額、該当する人数と給付金額と事務費、また、事務的な準備、新たな受給者の申請等、どのようになされているのでしょうか、

A 亀井保健福祉課長

支給総額に対する国の負担は、手当支給総額から県と町が従来の児童手当法に基づく費用負担額を差引いた残りの額となっております。なお、本町の支給総額は、平成22年度、10カ月分で約4億2千6百万円程を見込んでいます。事務的な準備ですが、今国会で予算及び法案の審議予定で、細部まで詰められていないという状況であり、短時間で行わなければなりません。受給対象世帯のうち4月以降出生や転入のあった世帯や中学2、3年生のいる世帯は、認定請求書等の提出をお願いし、他の世帯でも現況届の提出をお願いすることが想定されます。

車イス利用者専用の屋根付き駐車場を！



香川虎生 議員

Q 庁舎敷地内の駐車場は保健センターで行事がある時などは混雑し、車の止める場所に困っている人を多く見受けるが、絶対数が不足しているのでは。その対応は？車イス利用者の駐車場での雨天時の乗降時の雨よけ対策は？

A 谷川総務課長

保健センターの利用申請の受付時、駐車場に限りがあり極力乗り合わせてもらいたいとお伝えしていますが、さらに無断駐車禁止の看板設置、占有車両への移動勧告、職員へのマイカー通勤の自粛要請を考えています。

雨天時の車イスの乗降ではご不便をおかけしていますが、たちまち雨よけの施設の増設が簡単でないため、庁舎東通用口と保健センターの間の渡り廊下の下をご利用いただければと考えています。雨よしのスロープもあることから、好位置かと存じます。ただし、車イスの乗降もある旨、今後、啓発をしていきたいと考えています。

Q 「企業連携の会」設立の目的と主旨は？

A 宮本産業振興課長

委員会の構成とその活動内容は、委員の意見はどのようなものがあつたのか。これまでの進捗状況は？今後のまちづくりに活かして欲しいが。会では、環境をテーマにした「リサイクルする町」ということであつたり、販売促進のためのポイント制をつくつたらどうかというご提案やラジオ等の活用といったようなご意見をいただきました。これらの活動につきましては、これからこの会の中で、企業の皆さん方の知恵を出していただいて、考えていくようになっていきますので、皆で考えていきたいと思っております。

Q&A

乳幼児医療費無料化の
拡大について



青木義勝 議員

Q 厳しい財政状況下、新年度より三豊市や観音寺市は乳幼児医療費無料化を中学校卒業まで拡大する、観音寺市はインフルエンザ脳症予防のHib（ヒブ）ワクチンの予防接種事業も行う、本町も子育て応援の充実を。

A 谷川町長

国は、子ども手当の支給という制度をつくりました。この制度は、私なりに解釈しますと、子育てに関わる経費を国が負担し、補償する事によって少子化を防ぎ、健やかな子どもを育てる事ではないかと思えます。

その様に考えますと、基本的に、子育てに要する経費はこの中で考えて行くべきではないかと思っております。乳幼児医療費等の拡大をいま直ち行うことは考えていません。また、町の総合的な施策の中に子育ても位置づけられていますから、限られた財源をどう配分するかも議論しながら、施策を決めて行かなければならないと思っております。

Q 予防できる唯一のガン

若い女性に増え続ける予防できる唯一のがん「子宮頸がん」。全国的に中学校入学祝いとして「無料ワクチン接種」を行う自治体が増えている。本町のお考えは。

A 山下健康増進室長

子宮頸がん予防ワクチン公費助成についてのご質問についてですが、全国で少数ではありますが、平成二十二年度から公費助成を行う団体もあるようです。ただ、香川県内ではまだ実施予定の公共団体はないと聞いております。なお、申し添えておきますが、この予防接種はあくまでも任意の予防接種となっております。

また、国において、任意接種促進に関する今後の進め方や予算措置なども含め、どのような方策が効果的かを総合的に検討するようです。その動向を見極めながら、本町の公費助成などを考えさせていただきます。と存じます。

少年育成センターの
在り方



藍川佳津樹 議員

Q 所長不在で一年過ぎたが、このまま良しとするのか専任を求めるのか、その見通しは。また、他施設との共用で、運営上の問題はないか。相談件数激減の原因になっていないか。

A 合田教育次長

現在、所長に適任と思う方とお話ししており、承諾があれば、4月1日には所長に選任できるものと考えています。他施設との共用の件ですが補導、連携業務には特に問題なく取組んでいます。

相談業務ですが、放課後児童クラブの時間帯は、喧騒な場合がありますが、相談は主に電話による相談であり、別室でお受けしています。また面談によるものは日程を調整して保健センターの研修室でお受けするなど、配慮をしています。

A 山分教育長

相談件数の減少の件ですが学校・地域・保護者が協力し生徒指導や補導の展開をしてきた成果もあるのではと思っております。

Q 地方公会計改革への取り組み

自治体財政健全化法に照らして今後の財政運営上の課題と思われる団塊世代退職の退職金問題、インフラ資産などの劣化による維持管理費の増大、連結債務圧縮などにどう対応するのか。

A 谷川町長

行政運営上の考え方の転換をしなければならぬのではないかと思っています。

退職金の問題は、公務員制度上の問題に関わっており、制度改正があれば対応しなければなりませんし、大きな課題であると思っております。

インフラの問題ですが、公会計では減価償却費の積立といった様なものはありません。しかし、考え方としては必要なことだと思っております。

町は、施設の修繕に備えた基金の積立などを行っています。土地開発公社であれば借入金率などに懸念があります。遊休資産の売却では借入金の返済なりに充てることなどもいま考えています。

町長の政策転換で住民の暮らしと命を守れ



井原猛雄 議員

Q 谷川町長は町民の咽に入っ
た町民税に手を突っ込んで
取り上げて、町長の政策の水族館、
臨海公園、道路舗装は果たして我々
町民にとって必要なものなのか。
それよりも今我々町民にとっては是
非必要なのは、水道、国保料金の
無理な値上げはしない。住民の命
を守るために乳幼児、小・中高校
生徒、後期高齢者の医療費無料化
と南部開発を率先し人口増加に繋
げることが今必要とされるべきで
ある。これに対する町長の姿勢を
正したい。

これから議論になるうかと思いま
すが、精査をされ、ご発言、ご提
言をいただけたならばと思ってお
ります。

A 谷川町長

町の命を守るといふ政策につい
てのご質問と存じます。

まず、ぜひ予算書をずっと見て
いただきたいと思います。我々
としましては、当然のごとく、先
ほどから議論がありましたように、
住民の健康、それから医療・福祉
それらについては可能な限りの予
算措置をさせていただいておりま
して、ぜひとも、十分に予算書を、

保健センターの利活用 について



平田弘次 議員

Q 宇多津町文化協会より、利
用料が値上げされ、前納を
前提とした利用料を6ヶ月分一括
して納入するのは厳しいので再度
検討して欲しいとの要請書が100
名近い署名とともに提出されてい
たが、議会での審議を目前に同協
会から取下げられるという事態と
なった。取下げられたといえども
署名された方々の声をふまえると、
利用料については先の議会で承認
されているため条例改正は難しい
が、納入方法については緩和でき
ないか。

A 山下健康増進室長

昨年9月の議会におきまして、
保健センター関係の利用料の条例
改正のご議決をいただきました。
また、従前は使用日の2カ月前か
ら使用申請の受付をしていました
が、町民の方々に、かつ、営利目
的ではなく毎週定期的にご利用の
ある団体などにつきましては、6
カ月を限度に長期の継続使用がで
きるよう、規則を改めました。ま

た、長期継続使用の説明会を開催
させていただき、協議もさせてい
ただきました。

ご質問の件で、いわゆる納入時
期などのご質問だと理解しており
ますが、条例では、使用の許可を
受けた方については、使用料を前
もって納めるということが規定さ
れておりますので、私どもとして
は、条例どおりに執行すべきとは
考えています。

ただ、この条例や規則の条文の
中には、「条例、規則に定めるも
ののほか、必要な事項は町長が定
める」といったような規定もあり
ます。今後、納入時期等は、一定
の限度を定めるなどの検討をした
いと考えております。

なお、私どもとしては、毎月申
請に求められる方々のことも考慮し
て、保健センターの管理運営を行
う必要性もあるということを申し
添えさせていただきます。

議会運営委員会では、2月3日、4日に長崎県大村市議会を訪ね、議会の運営に関する研修を行った。

同市議会では、「スピーディな議会改革で、市民に存在感を示す」という理念の下、一般質問での一問一答方式、議会のインターネット中継を行っている。また、議会だけでなく委員会も傍聴できる。

さらに、市民と議会の集い「語ってみようか」を年2回行っている。この集いは、3月と9月の定例議会終了後、2か月以内に8地区で行われる。25名の議員が6名ずつ4班に分かれて開催され、



(大村市・市民と議会の集い)

- ①議会からの報告・質疑応答
- ②市民との意見交換（テーマあり）
- ③フリートーク（市政全般）

などを行っており、各所で市民からの忌憚らない意見が出されている。

議会に関することでは、

- ・ 政務調査費を使って調査したことは市民に発表せよ。
- ・ 議員定数が多い。
- ・ 民意が市議会に届いていない。
- ・ などの厳しい意見も。また、その他、給食費未納対策を。
- ・ 公園トイレの整備を。

・ 道路拡幅などの陳情を出しているが、進展がない。

・ 若い人の働く場所がない。

・ という切実な意見も出された。

本町でも、昨年初めての試みとして「議会報告会」を行ったが、

・ 回数を増やしてほしい。

・ 報告の時間が長く、質問の時間が短い。

・ などという意見も頂いている。

このような皆さまのご意見を真摯に受け止め、本町でも多くの町民が参加しやすいよう、年に2回以上の「議会報告会」開催、さらにインターネットによる本会議の中継など、「開かれた議会」を目指した様々な取り組みを検討したい。

平成22年第1回臨時会

平成22年第1回臨時会を平成22年1月29日に開催した。議案2件は全会一致ですべて可決した。その内容は

①新宇多津キッズプラザ西側に完成したコミュニティ分館の名称を「宇多津町新宇多津コミュニティ分館」とした。

②宇多津小学校プールの改修工事は、6社の指名競争入札で行われ、(株)光建設（丸亀市田村町）が5,985万円で請負契約の締結をした。

子ども議会

みんなの楽しめる町を作ろう

2月16日に毎年恒例の宇多津子ども議会が開催され、宇多津北小学校、宇多津小学校、宇多津中学校からの代表「子ども議員」が町議会本会議場に集まりました。

宇多津北小学校からは、全校生を対象に取った「宇多津臨海公園についてのアンケート結果」によると、海の生き物や環境について学べる水族館のような施設の建設、また遊具広場には低学年向けの遊具が多いので、高学年から大人でも楽しめる遊具を増設できないかなどの質問がされました。



宇多津中学校からは「地域に貢献できる生徒」を目標とし、年間を通じてさまざまなボランティア活動を行っています。そこで新たなボランティア活動として、宇多津臨海公園に訪れた方々が安らぐ場所として感じてもらうために、公園内を地域の方や小学生とともに清掃し、花で飾る機会を与えてもらいたいなど、普段考えていることや自分たちで調べてきた質問や要望に対し町長をはじめとする各担当課長が出席する中、活発な質疑応答が交わされました。

宇多津小学校からは、健康な体づくりを目標としている「元氣習慣調べ」を毎月行っています。その結果をもとに毎日朝食を食べる事への大事さ必要性を發表し、みんなに朝食の大切さを知ってもらうために、誰でも作れる簡単レシピを作成し配布、または広報などに掲載して欲しい。

議会報告会開催のご案内

宇多津町議会では次の通り第2回議会報告会を開催したいと思います。この報告会は身近な議会、開かれた議会を目指し昨年からは開催されたものです。今回は平成22年度の新年度予算を中心に、様々な事柄について、住民の皆様のご意見などをお伺いしたいとお考えですので、お気軽にお越し下さい。

日時 5月13日(木)19時

場所 保健センター

4階大会議室

お詫びと訂正

前号(33号)井原議員一般質問の原稿で

〔誤〕漢式塩田〕は

〔正〕模式塩田〕でした。

お詫びと訂正をさせて頂きま

議会日誌

2月

- 2日 議員総会
- 18日 建設教育常任委員会
- 22日 議会運営委員会

3月

- 1日 議会運営委員会
- 5日 全員協議会
- 8日 第1回定例会本会議
- 10日 一般質問
- 11日 一般質問
- 12日 総務民生、建設教育合同委員会
- 15日 総務民生、建設教育合同委員会
- 16日 建設教育常任委員会
- 17日 休会
- 18日 総務民生常任委員会
- 19日 議会運営委員会・合同常任委員会
全員協議会・本会議

4月

- 5日 議員総会
- 21日 議会運営委員会
- 26日 第2回臨時会・議会広報特別委員会

議会広報特別委員



宮本 隆委員 大松喜次郎委員 西本弘子委員
香川虎生委員長 池田弘昌議長 平田弘次副委員長

う。
（H・N）

街路のサツキが満開を迎える頃となりました。先日町外の方に、「宇多津の駅前は道路沿いに、色とりどりのツツジが植わっていて、花の頃はともきれいな」と言われました。「どうして街路にツツジを植えているの。」と尋ねられたので、「あれは、ツツジではなくサツキで、町の花なのよ。」と教えました。4月から5月の宇多津駅周辺はサツキが見事で、赤、紫、ピンク、白などの華やかな花の色には、私たちがどんなに綺麗な色の服を着てもかきません。サツキは、ツツジ科の花ですが、春先にツツジが咲いた後、旧暦の5月頃から咲き始めるので「皐月」（サツキ）といわれるそうです。サツキの頃は凌ぎやすく、まさに「お出かけ日和」。この機会にぜひ、駅前から臨海公園まで、サツキを楽しみながら歩いてみてはいかがでしょうか。

表紙の言葉



聖通寺市

4月11日聖通寺市が、開催されました。当日は朝から天候が心配されましたが、市が終わるまで雨は待ってくれました。

桜の花も満開を少し過ぎていましたが、お花見をするには十分な花を、咲かせていてくれました。何度見ても桜の花は綺麗であるが、散るのも早い、だからより一層美しく見えるのだろう。

来年の聖通寺市の時にも、美しい花を咲かせてくれる事を楽しみにして、子供の頃から楽しんだ聖通寺市が開催され、たくさんの人に訪れて頂けることを願い、そして宇多津町が元気で、光輝き続ける町であることを願い、今まで以上にふるさとの発展の為に、ガンバリ続けたいと誓った一日でありました。

開かれた議会を目指して

宇多津町議会では、議会活性化のために、様々な取り組みをしています。

- 定例議員総会（毎月第1火曜日）
- 『議会だより』の作成・発行（年4回）
- 日曜議会などの開催 ● 各委員会による調査・研究など

ご意見等は議会へ

（匿名によるご意見等はお受けする事ができません）

編集後記